

第57回 滋賀県書き初め展覧会

小一 高野 奏良
筆先のばねを上手く使って堂々とした書きぶりが良いです。



小一 森 はづき
淡い墨とゆったりした筆づかい。優しい作品ですね。



小二 吉田 菜由
力強い筆づかいです。最後の「山」まで気持ちをよくつなきました。



小三 藤尾 来夢
作品が躍動しています。大きな筆の動きが楽しいです。



小三 西倉 舞
思いがこもった強い線で、紙一面が元気であふれています。



幼 和田虎之介
墨をたっぷりつけて、大きな動きで書きました。



小一 野田 輝
墨をたっぷりつけて、最後まで真剣な作品です。



小二 武田 一慶
流れるような筆づかいができました。さわやかな作品です。



小二 北川 紗羽
筆の毛をしつかり紙につき立て、いきいきとした線で書きました。



小三 千代 怜奈
ねばり強い線で、細部まで気持ちを配れています。



小三 中嶋 健晋
文字の形、線の強さ、墨の使い方、すべて調和しています。



幼 坂井 勇心
年少さんの作品。ゆったり大らかに書かれています。



小一 松井 星空
ゆつくりと確実に一本一本の線が引かれています。



小二 内林 苺
筆先をうまく使い、軽やかなタッチで書きました。



小三 足立 彩仁
筆先のバネをよくいかし、鋭い線でいきいきと書きました。



小三 谷口 裕太
筆の使い方が良く、いろいろな線がひかれています。



小三 中村 悠愛
のびやかな「友」がすばらしく最後までうまく納めています。



筆の浮き沈みを十分に生かし変化に富んで楽しい作品。
小三 大杉 愛華



迷いなく一気に動いて爽快。残した余白も効果的です。
小三 上田 海空



筆の先がわれそうになっても、強い気持ちで書きました。
小四 木原 葉乃



単純な字形の文字の、一点一画が大切に書きました。
小四 村居 隆太



全体に良くバランスの取れた、そのない作品です。
小四 水田 悠希



切れ味の良い線で、落ちつきあるゆるぎない作品です。
小五 後藤 舞衣



筆をしっかりと立て、すばらしい気合で書ききって見事。
小三 森本 凌大



たて線の引き方が堂々として、とても立派です。
小四 廣田 晃士



何物にも負けずに、強く強く線を引く力が抜群です。
小四 菱本 結月



せまい紙幅に充分の広がりを感じられる書き方です。
小四 西田 真唯



墨色が適度で紙にくいこんで「事」の破線が作品効果上げています。
小五 深田日向子



紙面いっぱい、堂々として立派です。
小五 大隅 蒼太



見ていて心温まるようなやらかな線と墨色です。
小三 梅屋 大喜



毛先の長い筆を、とてもうまく使いこなしています。
小四 山村光太郎



ろう書きの特色を生かし、リズムカルに書きました。
小四 安積 紫音



動きながら強弱の変化が、うまくとれたと思います。
小四 東野 葵衣



青墨が美しい作品です。筆づかいもしっかりしています。
小五 梅山 朋香



よゆうのある線で、ゆうゆうと楽しく書けています。
小五 押谷 武琉



はつらつとして楽しく書いている様子がうかがえます。小五 太田あかり



「冬」の抵抗ある線がよくきいていてこの作品をきめています。小五 山本真里奈



キビキビとした動きで力まず伸びやかに書きました。小六 浅野 朔也



ズ太い線でリズムよく書きぬいて元気あふれる作品。小六 野田 穂花



字形に気を配り、伸び伸びと力強くまとめられました。小六 國松依万里



文字の大小を入れ、一貫性に富んだ秀作です。中二 白神 夕輝



大きな筆で、ズバツと書ききっています。小五 濱島 璃子



ハネ、ハライが元気よく、適度なカスレも効果的です。小五 中吉 笑蓮



ガバリと開いた毛筆を上手に使った独創的な作品です。小六 石東 知沙



どっしりと落ち着いた線で、まとまりのある作品です。小六 山中さつき



ゆったりとした構えで筆を大きく動かしています。中一 大久保翔馬



にじみ、かすれが効果的で大きな動きで書きました。中二 青山 涼太



線の太細の表現がよくでき、ゆったりとしています。小五 千代 幸奈



大きく軽やかなタッチで動き、いきいきとしています。小六 三浦 春舞



一本一本しっかりと線をひき、堂々とした作品です。小六 岡野 愛美



自然な動きでやわらかい線でまとめられました。小六 木下 元希



どっしりした中に動きのある秀作です。中一 円城 太輔



陽春の中、やわらかな新芽が出た爽やかさの表現が素敵です。中三 山口 佑菜





中三 溝口 紗月
ろう書きの「亀」がいきいきして下部とのリズム感がよろしいです。



高一片山 瑠南
ろう書きの技を最高に表現し強弱や余白への配慮も可。



高二 加納 志織
二色を使い、余白と右上がりの線がよく調和して独創的。



高三 重田 乃胡
余白を含めた白と黒の響き合いが心地よい作品です。



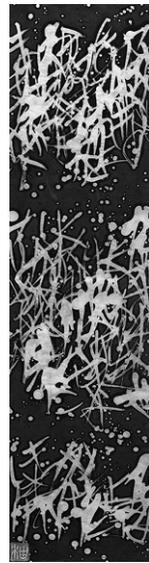
一般 高井 敦史
たつぷりと豊かな書きぶりと語句がよく合った秀作。



一般 高井 敦史
「幽趣」思い切った造形で白が活きている秀作です。



高一 岡田 皇賢
ろう書きの上に堂々と夢一字。筆の開閉よく気迫があります。



高二 坂田 すす
筆先を生かした切れ味、三段の変化と余白。新鮮です。



高二 磯矢 亜美
筆をよく開き、表情豊かな筆線の組み合わせが見事。



一般 古迫 司
行草書の書法をよく身につけ、堂々と書ききり見事。



一般 大橋香代子
篆書の造形美を活かし、筆を自在に駆使して見事。



一般 大橋香代子
リズムよく一貫した書きぶりと垣間見える白が魅力。



高一 上田 花
濃墨で一気に書き上げた中に筆者の呼吸を感じる快作。



高一 石田早侑梨
太めの筆に煮えたろうを沢山含ませ気合一番、心地よいです。



高二 川西 真由
筆によく墨を含ませ、強くしつかりした筆線の秀作。



一般 筒井 和彦
「雲騰る」大胆な紙面構成と筆遣いの妙が見事です。



一般 岩本ゆう子
ゆつたりとした筆の運びで四文字をうまくまとめ見事。

第17回
書き初め大会特別賞作品

大津市長賞



晴嵐小二年 相山 恵

中日新聞社賞



仰木の里小三年 上田 千尋

毎日新聞社賞



瀬田東小五年 清水 葉月

滋賀県書教育研究会会長賞



葉山中三年 溝口 紗月

滋賀県書道協会賞



清和幼稚園 北野 愛佳

京都新聞賞



瀬田小二年 藤田 清花

大津市教育長賞



青山小四年 木原 葉乃

滋賀県教育会会長賞



志津南小六年 八田 麻央

滋賀県知事賞



栗東高校三年 溝口 紗帆

読売新聞社賞



矢倉小一年 前田 瞭太

滋賀県教育長賞



瀬田南小三年 眞柄 美希

NHK大津放送局長賞



開晴小四年 木下 茜衣

KBS京都賞



葉山東小六年 石田 琴音

書き初め大会スナップ



BBCびわ湖放送賞

東大津高校一年 澤 万葉



朝日新聞大津総局長賞

伊吹高校三年 多賀帆乃花



産経新聞社賞

膳所高校二年 館 明日海